

2. 整備事業

(福島県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー 成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績 達成率	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			被災前2年度	1年後(平成26年)	2年後(平成27年)	3年後(平成28年)	目標値(平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
川俣町	有限会社川俣シャモファーム	肉用鶏(シャモ)	育雛舎の整備により年間育雛能力を増強することで、川俣シャモの年間出荷量を震災前水準以上に回復させる。	肉用向け出荷羽数 56,000羽 (育雛能力 52,100羽)	68,500羽	57,400羽	55,100羽	肉用向け出荷羽数 72,000羽 (育雛能力 72,000羽)	76.5% ※H26は95%	育雛舎整備により年間育雛能力が増強され、ゆとりある環境での育雛が可能となった。 しかし、H27以降販路の縮小等により出荷羽数が減少し、それにとともに雛需要数も減少したため、成果目標は未達となった。	23,112,000	10,700,000	6,955,000	624,000	4,833,000	H27.3.30	大口取引先の閉店等による販路縮小、それにとともに雛需要数の減少により、成果目標が未達となった。 今後は(株)川俣町農業振興公社等と連携し、各種商談会への参加や既存取引先との関係強化に努め、川俣シャモの需要増加と雛出荷羽数の増加を目指す。	事業は計画どおり実施し平成26年度は目標の95%を達成したが、大口取引先の閉店に伴い販路が縮小されたため納入先の(株)川俣町農業振興公社の在庫が余剰となり生産羽数が減少した。 現在、余剰在庫は解消され、公社の販路新規開拓や既存の取引先への出荷羽数の増加により、H26年度程度まで肥育羽数も回復していることから今後成果目標の達成が見込まれる。	

都道府県平均達成率	73.9%	成果目標の達成状況は、4地区中、「達成」「概ね達成」が2地区で全体の50%に達したため、県全体で「未達」と評価する。 なお、「未達」地区については、早期の水稲作付再開に寄与したものの、飼料用米への品目転換の影響により未達となった地区については、主食用米作付再開のための指導・助言を行っていく。また、肉用鶏の大口取引先の閉店等による販路縮小の影響により未達となった地区については、新たな販路開拓等により回復傾向であることから、平成29年度は目標達成が見込まれる。
-----------	-------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。  
 2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。